

中日

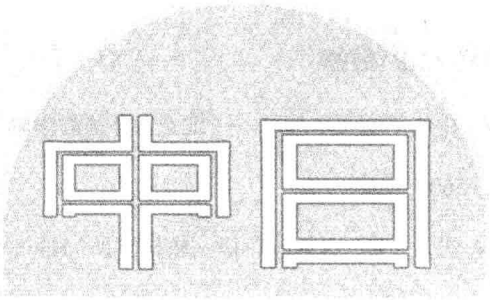
(中级)

# 口译教程

编著：刘丽华 日方合作者：(日)塚本庆一



外语教学与研究出版社



中日

—— (中级) ——

# 口译教程

外语教学与研究出版社  
北京

## 图书在版编目(CIP)数据

中日口译教程. 中级 / 刘丽华编著. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2009.5

ISBN 978-7-5600-8585-2

I. 中… II. 刘… III. 日语—口译—教材 IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2009) 第 070704 号

你有你“优”——点击你的外语学习方案

www.2u4u.com.cn

阅读、视听、测试、交流  
购书享积分, 积分换好书



出版人: 于春迟

责任编辑: 张俏岩

装帧设计: 路丽佳 袁璐

出版发行: 外语教学与研究出版社

社址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网址: <http://www.fltrp.com>

印刷: 北京京科印刷有限公司

开本: 889 × 1194 1/32

印张: 15.375

版次: 2009 年 6 月第 1 版 2009 年 6 月第 1 次印刷

书号: ISBN 978-7-5600-8585-2

定价: 39.00 元 (附赠 MP3 光盘一张)

\* \* \*

如有印刷、装订质量问题出版社负责调换

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 185850001



## 総序

---

このたび、吉林大学の劉麗華教授が、中国で日本語を学ばれている方々のために通訳訓練のための教科書を完成された。これは私にとっても、こんな嬉しいことはない。心から祝福させていただきたい。

通訳という言語コミュニケーション活動は、人類が異言語集団と接触を持ち始めたときに、生まれたはずである。しかし、通訳者の本格的な訓練となると、それはずっと遅れて、おそらく20世紀になってからのことである。そして、それは、まずヨーロッパで始まり、今では世界各地でしかも大学院で行われている。さらに、通訳という活動を科学的研究の対象として究明しようという通訳研究は、ヨーロッパで1950年代に始まったに過ぎないが、しかし、その後、急速な進歩を遂げ、今では種々の国際会議、シンポジウムなどが数多く開かれ、そのため、通訳を専門とする出版社もすでに現れているくらい、通訳訓練、通訳研究が重視されるようになった。日本でも、通訳者の訓練はいくつかの大学で、すでに1960年代から行われ、通訳研究に関しても、通訳理論研究会を私どもが発足させたのが1990年、それが発展的に解消して日本通訳学会となったのが2000年のことであった。

通訳研究の一部として、訓練法に焦点が当たったのは、その応用研究としても、通訳者訓練の必要性からも、当然の成り行きであった。訓練法について、多くの研究者がなされている。しかし、本当に学習者のために便利な教科書は残念ながら、まだとても少ない。本書はいままでの実例のみの教科書と違って、学習者のニーズに応えるように、ユニットという設計を試みた。初めての試みであったがゆえに、その意義はいくら強調してもしすぎることはないし、そのご苦労も大

変なものがあったと想像する。

また、劉麗華教授がわれわれの行っている日本通訳学会の研究会に何度もご出席になり、その研究の成果を分かち合われ、われわれも盛んに意見を述べる機会を持たせていただいた。強いて言えば、わが学会として多少の関わりを持つことができたと考えたい。その機会に感謝し、同時にそのような機会を持てたことは、大きな喜びでもあったし、それを誇りにも思っている。今後とも、このような協力関係は継続し、さらに拡大していきたい。

私は中国語ができないため、残念ながらこの教科書の細部までは理解できない。しかし、これが実に親切な教科書であることは、日本語の部分だけを見ても十分に理解できる。このような親切な教科書を使って、私自身が通訳訓練の導入部分を受けられていたらよかったと思う。特に、実習例のみでなく、語句や中日対訳理論の解説を加え、徐々に難しい課題に自然に進んでいくという新機軸を出している点は、特筆に価すると思っている。

一人前のプロの通訳者になるには、初級から、さらに中級、上級と進むのは当然のこと、現場で何年ももまれて、厳しい体験を経ることが必須である。そして、高いレベルの教養を培い、学問研究および現実の生活の諸分野について深い理解、広範な知識を得ることが必要である。さらに、中国語、日本語のほか第三、第四の言語を通訳可能な言語として身につけていただいて、全世界の通訳者の仲間に入りたい。もちろんその後も、研鑽は生涯にわたって続く。どんな職業でも、真のプロになること、その地位を維持することは、容易なことではない。通訳者も同じである。そして通訳という専門職は、そのような厳しい訓練を自らに課し、研鑽を続けるに十分に値する仕事、そのような努力をするにふさわしい職業である。世界が狭くな

り、中国もさらに世界に開かれた国になるにつれて、通訳という仕事はますます重要になっていくに違いない。

このような高貴で困難な道を究めようとしてその第一歩を歩み始める、多くの勇気ある学生諸君に、幸あれ。

そして、本書が多くの読者を得、日本語でも使われる表現を使えば、「洛陽の紙価を高め」、今後、何度も版を改めてさらにより良いものになっていくことを願ってやまない。

日本大東文化大学経済学部教授

日本通訳学会会長

国際会議通訳協会シニアメンバー

近藤正彦

2009年3月30日

吉林大学刘丽华教授为中国的日语学习者开发的口译训练教材已经完成。本书的出版对于我来说，也是一件无比高兴的事情，在此表示衷心的祝贺。

口译这项语言交流活动，产生于人类开始与使用不同语言的群体进行接触之时。但是对于译员的正规训练却开始很晚，恐怕是到了20世纪以后的事情了。口译训练最先始于欧洲，如今已经遍布世界各地，而且研究生院也在进行这方面的培训。至于把口译这项活动作为科学研究的对象予以探究的口译研究，是到了20世纪50年代才在欧洲兴起的。不过，其后却得到了迅速发展。如今，各种国际会议、研讨会等频繁召开，口译训练也逐渐受到重视，甚至出现了专门出版口译方面书籍的出版社。在日本，对于译员的训练，自20世纪60年代起已经在若干大学开始实施。在口译研究方面，我们曾于1990年创立了口译理论研究会，于2000年发展成为现在的日本口译学会。

口译训练方法作为口译研究的一部分而受到瞩目，这一点无论是从应用研究的角度，还是从译员训练的实际需要来考虑，都是一个必然的趋势。关于训练方法，已经有很多研究。但遗憾的是，真正为读者考虑的、用起来方便的教科书还很少。本书不同于以往只提供实例的教科书，考虑到学习者的需要，尝试了“单元”这种设计形式。正因为是初次尝试，因此其意义无论怎样强调都是不过分的。而且，我确信作者为其付出的辛苦也是巨大的。

刘丽华教授曾几次出席我们举办的日本口译学会研究会，使我们得以分享到她的研究成果，并也得到了充分阐述意见的机会。冒昧地说，我觉得作为我们学会多少也参与了本书的创作。感谢她为我们提供了这样的机会，我们为此感到由衷的喜悦，同时也感到很骄傲。希望今后这

种合作关系能够继续下去，并得到进一步扩大。

由于我不懂汉语，很遗憾无法了解这本教材的细微之处。但是，只是通过阅读教材中的日语部分，就可以充分了解到这是一本考虑周全的教材。我想，如果自己当初接受口译初级训练时能有这样的教材就好了。特别值得称道的是，本书不仅有实习用例，同时还加上了词语和中日对译理论的解说，循序渐进，由易到难，开创了一条新思路。

要想成为一名合格的专业译员，需要从初级再向中级、高级迈进，还要在实际工作中经受多年的磨练和摔打。此外，还应该培养高水平的素养，加深对学问及现实生活各领域的理解，获取广博的知识。除了汉语和日语，还希望大家学会用第三、第四种语言进行口译，加入到国际口译译员的行列中。当然，在那之后，还是要继续学习，并一生钻研。无论什么职业，要想成为专业人员，要想保持其状态，都不是一件容易的事情。口译译员也是如此。而且，口译是一个值得主动进行严格训练、不断钻研的职业，是一个值得付出的职业。随着国际化进一步加强、中国进一步开放，口译工作必将变得越来越重要。

口译的道路是崇高而艰难的，向着终点迈出第一步的勇敢的学子们，我祝福你们！

最后，衷心祝愿本书获得更多的读者，用一句在日语中也使用的谚语来说，祝愿本书如“洛阳纸贵”，今后不断再版，好上加好。

日本大东文化大学经济系教授

日本口译学会会长

国际会议口译协会资深会员

近藤正彦

2009年3月30日





# 通訳者への道は人それぞれ

## ——本書の序の代わりに

\*話し手：永田小絵（ながたさえ）

「通訳」と聞いて皆さんはどんな人を思い浮かべますか？来日した映画スターの記者会見で、いつも隣にいて耳打ちしている人、テレビで外国の人が話すのと同時に日本語で話す声だけの人、大きな国際会議場で出席者がヘッドホンをしているからどこかに通訳している人がいるのかなあと考えた人もいるかもしれません。資格は必要ないのですが、語学が得意ならなれる仕事なのでしょうか？

### ★通訳者への道は人それぞれ★

——通訳者をめざそうとしたきっかけは？

永田：実は、最初から通訳者になろうと思っていたわけではありません。最初に就職した商社では、通訳や翻訳を頼まれることが多くなり、とうとう一年の半分ぐらい中国に出張して、朝から晩まで通訳したり、商談や契約書の翻訳をしたりするようなどても忙しい生活を送るようになりました。

——中国語は大学で専攻されたのですか？

永田：いいえ、大学は文学部で中国哲学を専攻しましたが、漢文は読みますが、べつに現代中国語を勉強したわけではありません。中国語は大学3年になってから専門学校に通って勉強し、卒業したあとに香港に2年間語学留学して、帰国後に商社に就職しました。

——会社では語学能力が役立ったのですね？

永田：日常会話ができるということと、専門の通訳や翻訳ができると

： いうこととは別ですね。それで、会社に勤めながら、休日に通訳の専門学校に通って勉強しました。ある時、国際会議で、先生の通訳を手伝う機会があって、やってみたら面白くて、それがきっかけで、6年間勤めた会社を辞めてフリーになることにしたのです。

—その最初の仕事で味わった面白さは今でも変わらないですか？

永田： 変わらないですね。こんな面白い仕事はめったにないと思います。その分野で最先端の人に話が聞けたり、知らない世界の話が聞けたり、毎回発見と感動がありますね。

—これまで通訳をやっていて良かったと思ったことは？

永田： 以前、ノーベル賞を受賞した野依先生と身近にお話しできたのがとても感動でした。また、奈良の文化財研究所の人たちとチベットに行ったときは、ラサにある世界遺産のポタラ宮で、普通の観光客では入ることのできない奥の修復現場まで入ることができて、日本の宮大工の人たちと現地で修復作業をしている人たちとの学術交流のお役に立てたのが思い出深いですね。

—通訳になるにはどんな勉強が必要ですか？

永田： よく何年で通訳者になれますかと聞かれますが、通訳になる道や年数は人それぞれですね。きっかけも仕事のためだったり、趣味で始めたり、いろいろです。しかし、本当に職業として通訳者として独立するには、毎日が勉強の連続ですし、厳しい道ですね。

最近、中国語の通訳で多い分野は、自動車関係、IT関係、学術交流です。こうした高度な通訳をする場合には、事前にいろいろな資料を読んだり専門用語や業界用語などを勉強したりします。翻訳も通訳も学習能力が必要な仕事です。毎週、毎週、

期末テストがあるみたいな感じ。これで成績が決まるから失敗できないという……（笑い）勉強が好きな人は向いていますね。

——通訳の仕事の内容は？

永田：通訳者には、貿易会社などの企業の中で、通訳や翻訳を専門職としている社員の人もいますが、「フリー」といって会社に属さず個人で通訳の仕事をする人もいます。フリーの人は通訳者の派遣会社に登録するのが普通です。

通訳の仕事は、難しいレベルから簡単なレベルまであり、その人の能力や実績で仕事の内容や料金が決まります。国際会議や外国人の講演会、外国企業との商談や契約といったときの通訳は高いレベルの通訳者でなければ務まりません。

最近では、日本に住む外国人が大変多くなったので、警察や裁判所、病院、学校などの公共機関でも通訳者が必要とされています。

——どんな人が向いていますか。

永田：通訳は、自分の考えや気持ちを相手に伝えるのではなく、他人の話の正確にそのまま通訳して伝える仕事です。良い通訳をしたときには、聞いている人たちが通訳者の存在に気がつかないほどお互いの話に夢中になることができます。勉強が好きで、自分が目立つことよりも他人の話をよく聞ける人、一つのことで、目の前の仕事をいかにきれいに高いレベルに仕上げるかということにこだわる職人気質の人が向いています。

——通訳の仕事の魅力は？

永田：有名人に会えたり、珍しい場所に行けたり、歴史的に重要な場面に当事者として参加できたりする興奮が味わえます。なにより人の役に立てる職業です。また、様々な分野に挑戦し、常に

新しい知識を吸収できることもこの仕事の醍醐味です。

——通訳者の活躍の場は？

永田：通訳者はいろいろなところで活躍しています。

- ・ 会議通訳——国際会議などで、ガラス張りのブースなどに入り、ヘッドホンをかけ、発言者の話を聞きながら同時に通訳していく、通訳者としては最も高度な分野です。
- ・ 放送通訳——外国語ニュースを翻訳して原稿を読み上げる。突発的なニュースでは同時通訳もします。
- ・ 芸能通訳——来日アーティストの記者会見やインタビュー、日常の通訳など、マスコミの前で話す度胸も必要です。
- ・ スポーツの通訳——国内外のスポーツ大会で、選手団や重要人物やマスコミなどの通訳を担当したり、プロ選手の試合から日常生活までお手伝いをしたりします。
- ・ 一般通訳——日常レベルのコミュニケーションから簡単な講演、専門性の低い商談や交渉、視察団の案内なども含まれます。

永田小絵プロフィール

会議通訳者・翻訳者。東京大学大学院総合文化研究科修了（言語情報科学専攻）。獨協大学外国語学部言語文化学科専任講師。ISS通訳研修センター本科講師。日本通訳学会理事。日華翻訳雑誌（HP）管理人。

口译是一项完全有别于单纯讲外语的工作，它要求译员在极短的时间内正确地理解和判断一方讲话人的语言及意图，并在瞬间内将其转换成另一种语言形式再传达给另一方。在这个过程中，译员要边听、边理解、边判断、边记忆，而后将对象语转换成译出语。要在极其有限的时间内完成这一系列行为，译员除了要具备高水平的双语知识及能力之外，还应具备较强的精神集中能力、反应能力、理解能力、记忆能力和表达能力，此外还要求译员对相关语言的不同文化背景和相关专业知识有一定的了解。最后，一个好的译员还应具有临危不乱、随机应变的良好心理素质。而要培养具备上述知识、能力和素质的译员，不经过系统的、特殊的训练是不可能实现的。

目前活跃在口译战线的不少资深译员，尽管由于历史原因而没有受过专业训练，但他们今天的成功毫无疑问是无数次经验与教训换回来的。时代进步了，国际化的脚步已经迈入我们每天的日常生活中，而对高质量口译的需求也日益增大，同时教育机构也已经能够从师资、教材、设备等方面提供良好的口译专门教育。中日口译系列教材正是这样应运而生的。

这套系列教材的编写目的是：通过理论和实践方面比较系统的教育，使学习者逐步掌握口译工作所需知识和技能，全面提高所需能力和素质，为将来的口译工作打下一个比较坚实的基础，而这个基础会使学习者将来少走弯路，并有效地缩短走向成功的距离。

为了实现口译所需的多种知识、能力和素质的综合培养，多方位、多层次地满足学习者的需要，《中日口译系列教程》采用了分单元的设置，每册分为若干单元，每个单元中设置若干板块，实行分阶段的营养

套餐式教学。学习者既可以全面学习，又可以各取所需。这一点是本套教材最重要的特点。此外，考虑到众多自学者的需要，教材中坚持“精讲多练”的原则，细致入微的讲解和大量的练习，尤其是听译练习，一定会让你收获多多。

经过初级分册的学习，学习者已经基本习惯了外语与母语的交替反射，但是口译的场合及涉及的话题尚限于非正式的或私人性的。中级分册的教学内容设定为：在正式场合中作为译员为讲话人提供双语互译或交替口译服务。教学目的是使学习者逐步完成从非正式场合到正式场合、从私人性到工作性双语互译或交替口译的过渡，同时进一步了解外语和母语在思维和表达方式上的异同，找出二者间更多的接点。为了使教材更具实用性，课文的写作尽量体现出汉语和日语的不同语言思维方式，以及由此带来的不同表达习惯。同时也尽量地贴近实际，尤其是第四单元的“スピーチ編”中特意写进了一些表述啰唆、不易分清层次的内容。

这本中级分册的出版，同样得到了许多人的帮助。在此衷心地感谢日本国际交流基金给予的第二次赞助，并使我获得了暂时摆脱繁忙的教学工作而专心编写教材的机会。衷心感谢国际会议口译专家、大东文化大学教授、日本口译学会创始人暨前日本口译学会会长近藤正臣先生的指导和帮助。衷心感谢著名中日互译口译专家、杏林大学教授塚本庆一先生作为日方合作者给予我的指导和帮助。衷心感谢早稻田大学教授川口义一先生的关照与支持。

在这里我还要特别感谢国际会议口译专家、日本独协大学讲师永田小绘女士。永田女士多年从事中日口译互译工作，不仅具有丰富的实践经验，还在口译教学中将这些宝贵的经验在理论上进行升华，撰写了大量口译方面的论文。永田女士创办的以中日互译为主要内容的《日华杂志》网站，10年来赢得了众多中日利用者的青睐，在同业网站中点击

率名列前茅。笔者在编写本系列教材初级分册时，就已得到了永田女士的关注与支持。编写中级分册时，永田女士不顾自己工作繁忙，欣然同意协助笔者。本册教材中，永田女士承担的部分主要为：课文的日译及部分课文的日文写作，以及“重要語句”和“練習コーナー”中的大部分日译。可以说，这本教材如果没有永田女士的大力协助是不可能完成的。

另外，还要再次感谢近藤正臣教授在百忙中抽出时间对本书中的日文部分进行了全面校对，为确保教材的质量提供了保障。

本书的出版还要感谢外研社综合语种出版分社社长薛豹先生及张溥先生，尤其要感谢责任编辑张俏岩女士的认真编校，她为本书的出版付出了很多心血。

由于笔者的能力及篇幅有限，教材中不可能囊括中日互译口译工作中所需全部知识和技能，而各种能力和素质的提高更是有待于学习者自身的实践。还是那句话，“山顶风光无限，山路崎岖遥远”，要想达到成功，必须迈出坚实的每一步。

欢迎诸位同仁、专家给予批评和指正，欢迎广大读者提出改进意见。

吉林大学外国语学院

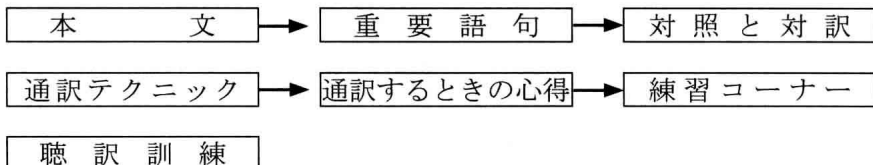
刘丽华

2009年4月20日

# 本书构成及使用方法

## 1. 本书构成

本书共分四个单元，每个单元由以下部分构成：



以上各部分是一个有机结合体，彼此融会贯通又相对独立。

### 本 文

每单元的课文均设置了若干中日互译短文，内容涉及广泛，可引导读者从各个方面学习职业口译。“訳文の検討”针对课文中译文的具体处理方法进行详细的说明。“注意点”会提醒读者避免一些常见的错误。

### 重 要 語 句

对职业口译中需要重点学习的汉语和日语单词（仅限于课文中出现的），给出释义并提供了例句。

### 対 照 と 対 訳

讲解中日两种语言间较有规则的相同点与相异点，探讨较为可取的对译方法。

### 通 訳 テ ク ニ ッ ク

介绍职业口译时的技术处理方法。

### 通 訳 す る と き の 心 得

介绍职业口译时的注意事项。

### 練 習 コ ー ナ ー

基本包括 1) 与各单元主题具有相应内容的对译练习；2) 针对“重要語句”的对译练习；3) 针对“対照と対訳”的对译练习。

### 聴 訳 訓 練

其中包括 1) 跟述及意群停顿训练；2) 段落记忆训练；3) 做笔记训练；4) 变换说法训练；5)



## 交替口译训练。

### 2. 使用方法

(1) 课堂教学，建议选择使用

本 文

重要 語 句

对 照 と 对 訳

通訳テクニック

课后作业，建议选择使用

通訳するときの心得

練習コーナー

聴 訳 訓 練

(2) 自学者可根据自己的需要和兴趣自由取舍，但建议把

聴 訳 訓 練 作为第一选择。

### 3. 说明

(1) 本书中所有译文、练习答案均为参考译文，不是唯一正确译文。

(2) 本书 **本 文**、**聴 訳 訓 練** 部分配有 mp3 光盘。